

たんぽぽ

《第6号》

発行 2016年3月号

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会

〒669-1514 三田市川除 675 番地

三田市総合福祉保健センター内

Tel 559-5965 fax 559-5945

Email chiiki@sanda-shakyo.or.jp

風に乗って飛ぶたんぽぽの穂のように、情報が広く届きますように…

～ だれもが自分らしく暮らせて、

地域人材（財）になれるまちに～

平成 27 年度 小地域福祉活動実践者交流会

「地域を笑顔に！活動者交流会」



▲ 活動者交流会の様子

地域を元気に！ 活動者交流会

アンケートより

NPO 法人播磨認知症サポート代表理事
丸尾さんをお招きして、実践で大切にして
きた視点などをお伺いし、「だれもが住みな
れた地域で安心して自分らしく暮らせる地
域づくり」のために、活動を通して何ができ
るかについて話し合いました！

だれもが、緩やかなつながりの中で、役割
や生きがいを持って支えあえる地域になれ
ばいいですね。

- ☑ 地域の活動に積極的に参加して、コミュニケーションを図りたい。
- ☑ 地域は違って、同じ悩みを共有していると感じました。
- ☑ 安心、安全に暮らせる地域づくりについて、学べた。
- ☑ 活動する側は、相手から見て安心だと、思ってもらえる自分でありたい。
- ☑ サロン活動の中でも、見守りの大切さを改めて感じました。全ての人々がひとり一人を認め合える地域・社会でありたい。



だれもが自分らしく暮らせて 地域人材（財）になれるまでに

「どんな生活をするのか、私の自由」「誰にも干渉されず、気ままに暮らしたい」と思うのは、今の時代、ごく普通感覚です。でも、あえて「つながる」ことで、地域の中の、自分の役割を発揮したり、人の役に立つことで、自分のことを誇らしく思えたり、前向きな気持ちにしてくれる。例えば、それは障がいがあってもなくても、同じことです。

ピアサポーターとして活動中の中北さん、地域活動者の勝本さん、竹内さんに普段のおつきあいについてお話をうかがいました！



ピアサポートと

同じ体験をもった人同士や同じような立場の人同士がお互いに共感し合い、助け合うサポートのことを言います。中北さん自身、精神障がいがあり入院の経験があります。そういった自身の体験をもとに当事者目線で同じような状況のある人たちのサポート活動をされています。

6年前の地域部会(※1)での集まりが中北さんとの初めての出会い。「今とは比べられないほど何も喋らなかった。今では地域部会の中で一番喋るんとちがうか。」



▲中北氏

現在、本庄地区でひとり暮らしをしている。地域部会で体験談を話して以降、ピアサポーターとして活動し、スポーツ21にも参加。毎日行くところがあって楽しい！



▲勝本氏

中北さんは、地域部会のみんなにとって弟のような存在。中北さん自身の頑張りはずごとと思うし、今はとつても前向きに生きてはる。こっちが元気をもらっている。



▲竹内氏

(※1)地域部会：三田市同和教育研究協議会(様々な人権問題の解消に取り組む組織)の下部組織で小学校区ごとに設置されている。

(※2)同推リーダー：本庄地域での地区ごとの人権担当者であり、人権学習の中心的リーダー。

…普段の付き合いの中でお互いに感じていることは

中北氏：心地よい関係性。仕事でしんどい事があっても「地域部会の人やバドミントン、バレーボール、またソフトボールの人たちと話ができる…」と心の支えになっている。また、自分は地域部会に大きくしてもらえた。

勝本氏：「大きくなれた」の部分に関して、きっかけをつくったよね。

竹内氏：中北さんの努力もあると思うよ。

勝本氏：彼がこけてしまわないようにみんなで支えた。支えるというのは障がいがあるなしに関わらず同じ地域に暮らしている人同士やから当たり前のこと。

中北氏：バドミントンやバレーボール等、自分にとっての居場所がたくさんできた。でもやっぱり障がいがあると受け入れてくれるかなと飛び込むのが怖い。何かきっかけがあればと思う。

勝本氏：そうそう。一番最初のステップを作らないといけないな。

…それぞれが地域のためにできることは

中北氏：地域部会で体験談を話したり、同推リーダー(※2)として経験をする中で地域の人に認めてもらえたと感じて自信がついた。これからも和気あいあいと楽しく暮らしていけたらと思う。

竹内氏：これからも元気に様々なところへ顔を出し、周りの方々に「あの人、元気にされてるから私も活動しようかな」と思ってもらって仲間を増やしていけたらと思う。

勝本氏：人と人の輪を広げていけたら。中北さんのように自分から声を出すということは大事であり、安心して声を出せる「場所」も大切。中北さんを見習いながら人とのつながりを大事にして地域の輪が広がっていったらいいなと思う。



本人の努力もさることながら、たとえ障がいがあっても、安心して声を出せる「場」や参加してみようと思える「きっかけ」をひとつひとつ工夫しながら身近なところからつくっていくことが、結果として誰もが自分らしく暮らせることにつながっているのだと思います。

様々な立場の人が参加してこそその地域活動。誰もが、その人にだからできる役割で地域を支え、またその人も誰かによって支えられている。そんなことを感じとれるような地域であり、自分でありたいと思います。



障がいのある方の活動を応援！

☆障がい者よさこいチーム輝笑(きらら)☆

障がいのあるメンバーを中心に“よさこい”の練習をしています。地域のイベントなどで演舞も披露し、わいわいと楽しくイベントを盛り上げています！

応援内容 演舞中の旗振り

場所・日時 三田市総合福祉保健センターにて第2・4日曜日に練習しています。



お知らせ



～ボランティア活動をされている方・始める方へ～

安心してボランティア活動をしていただくため、活動中の万が一の事故に備えて、『ボランティア・市民活動災害共済(ボランティア保険)』の加入をお勧めします！

現在、平成28年度分の受付を開始しています。

➤掛 け 金 ひとり年間500円(団体でまとめて加入ができます。)

➤補 償 期 間 申込みの翌日から平成29年3月31日まで

➤補 償 内 容 ボランティア自身がケガをした場合の【傷害補償】、第三者の身体または財物に損害を与えた場合の【賠償責任補償】など

➤その他の保険

*【兵庫県ボランティア活動等行事用保険】行事・イベント中の事故に対応。

*【兵庫県移送サービス交通傷害保険】移送・送迎サービスを行う際の事故に対応。

*【天災危険補償プラン】地震・噴火・津波による傷害事故にも対応。

※詳しい補償内容や対象となる活動などについては、ボランティア活動センターまでお問い合わせください。

➤加 入 受 付 ボランティア活動センター、市内各地域福祉支援室、多世代交流館シニアユースひろばにて(※ボランティア活動センター、各地域福祉支援室は下記のとおり多世代交流館シニアユースひろば TEL:562-8423 FAX:562-8424)

地域福祉活動に関するご相談はこちらまで！ お気軽にどうぞ★

三田市ボランティア活動センター(総合福祉保健センター内)	TEL:564-0410	FAX:559-5945
三田三輪地域福祉支援室(総合福祉保健センター内)	TEL:559-5965	FAX:559-5945
フラワー地域福祉支援室(フラワータウン市民センター内)	TEL:550-9008	FAX:550-9009
ウッディカルチャー地域福祉支援室(ウッディタウン市民センター内)	TEL:553-8373	FAX:553-7023
広野本庄地域福祉支援室(広野市民センター内)	TEL:560-5822	FAX:560-5823
藍地域福祉支援室(藍市民センター内)	TEL:568-5400	FAX:568-5405
小野高平地域福祉支援室(高平ふるさと交流センター内)	TEL:560-8177	FAX:560-8178